

北の大地の水族館

滝つぼを見上げると、
銀色に輝く生命のきらめきが

川面が凍りつく北の大地の厳しい冬には
川底で耐えぬく北の生命のたくましが

巨大な水塊となった青い湖底には
1mを超える北の大魚イトウの美しい姿が

熱帯ゾーンには温根湯の温泉水で
すくすく健康で育った熱帯淡水魚たちが

おんねゆ温泉山の水族館は、世界初と日本一がある水族館
北の水塊の躍動感と、北の生命の輝きを
感じていただけることでしょう。



入館料金

	通常料金	団体割引	年間パスポート
一般	670円	510円	1,000円
中学生	440円	370円	660円
小学生	300円	200円	450円

※団体割引は20名様以上

開館時間

夏期間(4月~10月)
午前8時30分~午後5時00分

冬期間(11月~3月)
午前9時00分~午後4時30分

休館日 / 4月8日~4月14日
12月26日~1月1日



おんねゆ温泉 山の水族館

〔指定管理者：果夢林ショップ運営協議会〕

〒091-0153 北海道北見市留辺薬町松山1番地4

TEL 0157-45-2223 FAX 0157-45-3374

ホームページ <http://onneyu-aq.com>



北の大地の水族館

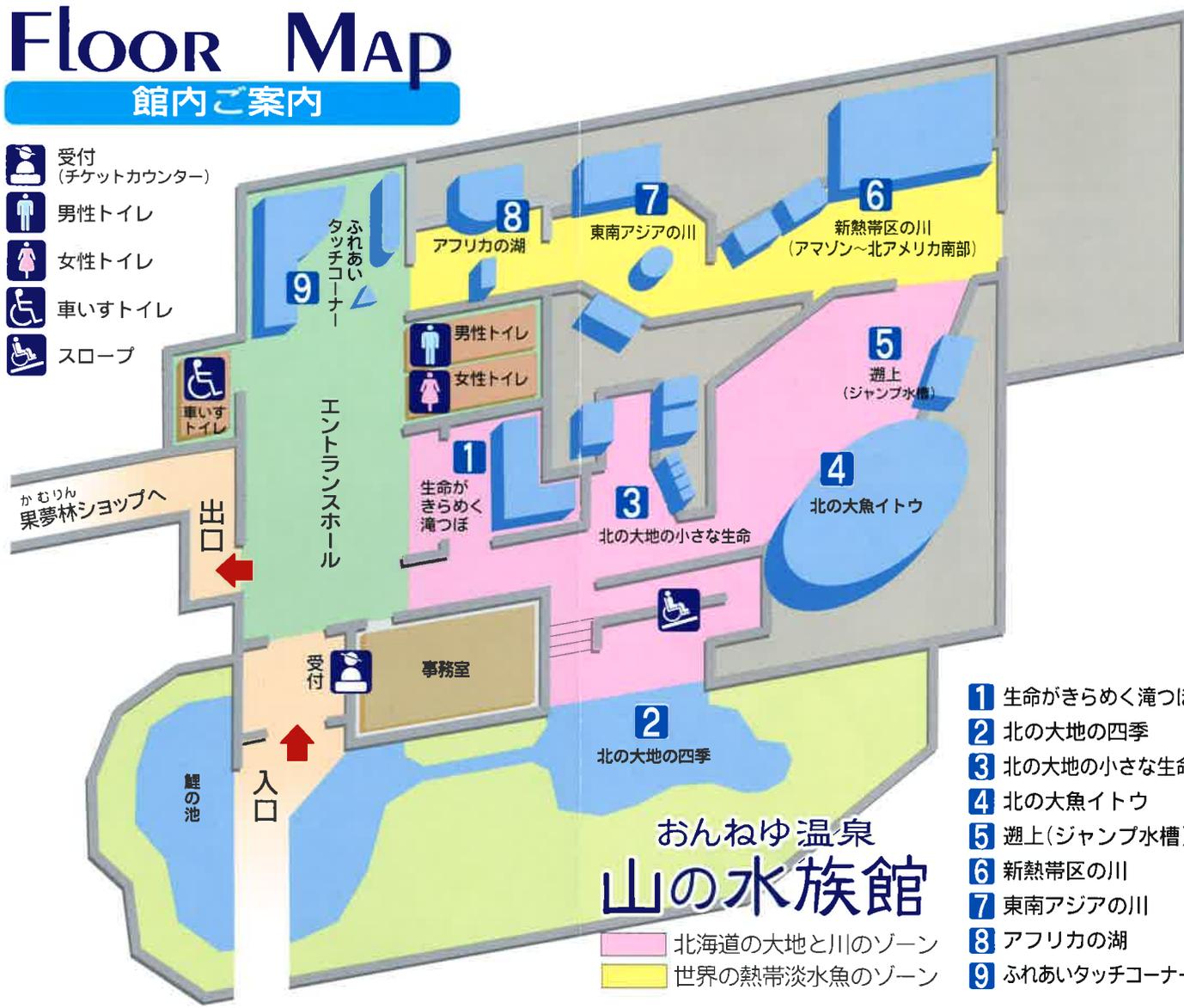
おんねゆ温泉 山の水族館



Floor Map

館内ご案内

- 受付 (チケットカウンター)
- 男性トイレ
- 女性トイレ
- 車いすトイレ
- スロープ



おんねゆ温泉 山の水族館

- 北海道の大地と川のゾーン
- 世界の熱帯淡水魚のゾーン

- 1 生命がきらめく滝つぼ
- 2 北の大地の四季
- 3 北の大地の小さな生命
- 4 北の大魚イトウ
- 5 遡上(ジャンプ水槽)
- 6 新熱帯区の川
- 7 東南アジアの川
- 8 アフリカの湖
- 9 ふれあいタッチコーナー



北の大地の小さな生命

広大な北の大地を流れる川や湖には、さまざまな種類の小さな生き物がたくさん生きている。また、北海道の独自の進化を遂げたものも多く、現在では絶滅が危惧されているような種も少なくありません。



北の大魚イトウ

成長すると体長1mを越える日本最大級の淡水魚イトウは、現在では北海道の一部でしか生息が確認されており、幻の魚とも呼ばれています。15年から20年生きると言われ、一生のうちに何度も産卵することでも知られています。ここでは温根湯の地下水で約40匹の天然イトウが育っています。



遡上(ジャンプ水槽)

川のわずかな変化に敏感に感じて、魚たちは移動を繰り返します。それは、より生息しやすい場所や、産卵場所を探しにいくためだと考えられています。この水槽では、約20分毎に水位が低くなると魚たちが上流に向かってジャンプしはじめます。



新熱帯区の川(アマゾン~北アメリカ南部)

世界最大の面積を誇るアマゾンの熱帯雨林を含む新熱帯区は、大西洋よりも多い約4,500種類もの魚が生息していると言われています。高温多雨な気候が作り出したさまざまな環境は、多様な色や形の魚たちを生み出した。コロソマやピラルクなど温根湯の温泉水で大きく健康に育っています。



東南アジアの川

アジアの人々にとって、熱帯淡水魚は主なタンパク源であるとともに、貴重な収入源であり、アロワナなど観賞用として品種改良が進められている種類も多くなります。しかし近年の急速な開発により、大型の魚を中心に多くがその数を減らしています。



ふれあいタッチコーナー

手の角質を食べてくれるドクターフィッシュを体験できる水槽や、魚がたくさんいるように見える万華鏡水槽、カラフルな魚たちと一緒に来館記念撮影ができる門柱型的水槽などがあるコーナーです。

いのち 生命がきらめく滝つぼ (日本初・滝つぼを見上げる水槽)

川をさかのぼる魚たちにとって、滝は川のつながりを分断し激流を生み出す存在ですが、上流から餌が落ちてくる場所でもあります。滝を見上げ激流に流されまいと泳ぐ美しく力強い姿や、銀色に輝くウロコのきらめきをお楽しみいただけます。



北の大地の四季 (世界初・川が凍る水槽)

北海道の川は季節の移り変わりとともに姿を変えていきます。夏には緑に包まれ流れていた川も、厳しい冬には川面が凍りつきます。この水槽は、自然の川と同じように厳寒時には水槽の水面が凍り、魚たちが厳しい冬をじっと耐え乗り越えるたくましい姿を観察することができます。

